

暮らし、定住、未来創造



新庄市役所 電話 22-2111
ファクス 22-0989

新庄市ホームページ 検索
<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
メール info@city.shinjo.yamagata.jp

広報 しんじょう 02

2016 SHINJO PUBLIC RELATIONS NO.698



Special Edition

特集

笑顔、
未来に





笑顔、未来に



▲新しく設置された巨大トランポリン「エアキャッスル」

全国各地でさまざまな子育て支援が行われているものの、最近のニュースでは、痛ましい事件・事故が後を絶ちません。

社会が大きく様変わりした今、時代にあった子育て支援体制の確立が急務です。安心して子育てができる環境づくりのため、今後もさらに取り組みを進めていきます。

広報 しんじょう02

2016 SHINJO PUBLIC RELATIONS NO.698

目次◎CONTENTS

特集◎笑顔、未来に

新庄市の子育て支援施策……………4

技を極め、技を伝える……………6

まちとび……………8

連載……………10～12

課外授業のススメ!／にこにこ子育てQ&A

しんじょう図書委員会／新庄市地域おこし協力隊通信

6次産業奮闘中!

おしらせ+プラス……………13

おしらせ……………14

こてんぐ隊がゆく……………16

市長コラム

新庄市長 山尾順紀



ふるさと応援隊新年交流会

1月16日(土)午後1時より、東京九段下のホテルグランドパレスで「新庄ふるさと応援隊」の新年交流会を、最上葛籬会と合同で行いました。昨年を上回る約140名の参加があり、会場は大いに盛り上がりしました。今回も戸澤家15代当主にあたる戸澤充様ご夫妻と伯母様、人間国宝奥山峰石先生、企業関係では日本航空電子工業の篠崎相談役、増田製作所の増田会長、さらには郡内町村の東京会の会長、最上葛籬会小林会長、最上育英会黒川会長など、新庄市に関係する多くの方々に参加をいただきました。

会場では、3度の餅つきを行い、つき立て餅を、あんこ・納豆・雑煮として振る舞いました。参加者は、ふるさとの味を求めて行列。お餅3種類を食べてお腹も満腹!「食べ過ぎて夕食が食べられない!」と喜んでいただきました。お楽しみ抽選会では、サプライズで奥山峰石先生からペンダント2本を提供いただき、特賞の賞品となりました。この特賞は、最上育英会の黒川会長とキトキト環境芸術祭審査員の菊池歩先生に当たり、菊池先生は「今年一年の運を使い果たしてしまった!」と大変喜ばれていました。確かになかなか身につけることができない品だけに、会場も一層盛り上がりしました。

会場の各テーブルは、来賓、最上葛籬会、企業部会、市内5中学校卒、その他一般などに分けているためとても話しやすい雰囲気です。あっという間に時間が過ぎ、にぎやかなうちに閉会しました。

ふるさと応援隊の会員も2千名を超えるまでになりました。今後は応援隊長の選任も含め、会員をさらに増やして情報発信・交流事業につなげてまいります。

※当日の様子は9ページでも紹介しています。

12 月末現在の新庄人 37204 (37,725人)

女 19,483人 (19,815人)
男 17,721人 (17,910人)



出生 22人 (21人)
死亡 46人 (38人)
転入 65人 (61人)
転出 79人 (59人)

世帯数 13,762世帯 (13,739世帯)

※住民基本台帳法の改正で外国人を含む人口集計になりました。()は1年前の日本人+外国人の数です。



Special Edition

特集

笑顔、未来に

新庄市の子育て支援施策

一昨年、日本創成会議・人口減少問題検討分科会の推計により、本市を含む、全国896の自治体が「消滅可能性都市」とされました。また、国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年に新庄市の人口は27,000人となり、年少人口割合(0～14歳までの人口比率)は10%程度まで急減すると予測されています。

こういった状況のなか、人口構造の急激な変化に対応しながら、持続可能な地域社会を築いていくため、平成27年10月に「新庄市人口ビジョン」を策定し、人口減少対策を強く推進していくこととしました。そして、それらの具体的な政策目標として「新庄市総合戦略」を策定しています。

今月は、その総合戦略で目指す、「安心して子どもを産み、育てることができる環境の整備」に向けて、新たに市が行う子育て支援施策を紹介します。

新庄市の子育て支援施策



近年の少子化問題や核家族化の進行、人間関係の希薄化などの社会構造の変化は、子どもや子育てを取り巻く環境にも大きな影響を与えています。

子育ての悩みを気軽に相談できる人や同年代の子どもを持つ親が近くにいないために、子育てに不安や孤独を感じる家庭が増えてきています。また、インターネットの普及によって子育てに関する知識が得られるようになった一方で、膨大な情報量によって理想とする育児の姿が見えてこないことなど、子育てに対して悩んでいる家庭も少なくない状況にあります。

■子育て支援の現状

新庄市では、保護者の子育ての不安感などを和らげ、子どもの健やかな育ちを支援するために、子育て支援センターでの育児相談や子育てサークルの育成支援・子育て教室を行っています。同時に、市内2カ所の民間立保育所においても子育て支援センターを開設し、育児に悩んだり子育てに不安を感じている保護者の相談に応じ、必要なアドバイスを行っています。また、わらすこ広場の利用拡大を図るため「わらすこワンダーランド」などのイベントを開催しています。



▲昨年行われた「わらすこワンダーランド」の様子

■新たな取り組みへ

しかし、昨年5月に実施した「新庄市まちづくり市民アンケート」では、「子育ての相談・支援体制が充実している」と「子どもの遊び場が充実している」の項目を重要・やや重要と感じている方が7割を超すのに対し、満足している方は2割に満たない状況でした。また、平成25年度に行った「新庄市子ども・子育て支援事業計画策定に関するニーズ調査」においては市の保育施設や遊び場、子育て支援施策について情報が見えにくいという意見もありました。

これらの調査の結果を受け、「子育ての相談・支援体制の充実」「わらすこ広場の利用者拡大」「子育て関連情報の配信」の取り組みに力をいれていきます。まず、子育て支援センターやわらすこ広場を、現在さまざまな事情によりご利用いただいていない市民の皆さまにも、身近に感じて頂き、ご利用していただくことが重要と考えています。

そのために、子育て相談しやすい環境づくりや、子育て世帯への分かりやすい情報提供を目指して、情報通信技術を活用した発信の方法や、施設機能の拡充、そして、関連情報を体系的にまとめた冊子作りなどに取り組んでいます。

技を極め、技を伝える

新庄市卓越技能者表彰制度

■卓越技能者の表彰制度

市では、さまざまな技能者の地位と技術水準の向上を図る目的で、昭和63年度に市卓越技能者表彰制度を創設しました。

この制度は、本市の産業に従事し、その発展に貢献した、優秀かつ模範的な技能者を表彰するもので、対象となるのは、石工、印章、建築大工、家具・木工、板金、建具、配管、表具、畳、左官、鋳物、塗装、和・洋裁、工芸菓子、陶器、鍛冶、彫金、織物、漆器などと、多岐にわたっています。

表彰には次の基準があります。

- ①卓越した技能を有し、現に当該職業に従事しているか、もしくは後進の育成に努めていること
- ②技能を通して労働者の地位の向上及び産業の発展に寄与した者

③技能者として経験年数が20年以上で、かつ年齢が50歳以上の者

④過去において禁固以上の刑に処せられたことのない者

これらの基準を満たし、市内にある各業種団体が推薦した方々について、毎年（一部隔年）審査会を開催して、表彰者を決定しています。

■これまでの表彰者

昭和63年以降、これまで70人の方を表彰しました。昨年までに表彰した方は下の通りですが、最も多いのは「建築大工」の25人です。続いて建具の製造に関連する職種や、和裁に関する職種が続きます。中には、皮や草・つる製品製造工や調理人、帆布製品製造工の方もいらつしやいます。

下の表には、残念ながら表彰後にお亡くなりになったり、事情により

■今後の表彰について

転出した方も含まれていますが、市内にこれだけ多種多様な技能者がいることに驚かされます。伝統を引き継いでその道を極め、さらに後世に伝えるという取り組みを今後も大切にしていきたいものです。

今年度の審査会（表彰）はすでに終了していますが、来年度もまた審査会を行う予定です。関係団体に推薦の依頼を行います。それ以外でもぜひ推薦したい方がいるという場合は、市商工観光課企業立地・商工振興室にご相談下さい。

◎商工観光課企業立地・商工振興室
☎内線258・259

これまで表彰した方々

敬称略。転出したり、お亡くなりになった方もいらつしやいます。

9		8		7		6		5		4		3		2		平元			昭63		
高山	中川	齋藤	齋藤	渡邊	岸	信夫	沼澤	高橋	岸	森	齋藤	名和	月野	前田	土田	大場	佐藤	中鉢	八戸	伊藤	奥山
博（塗装工）	榮一（菓子製造工）	榮（建築大工）	勇（電気作業者）	俊一（菓子製造工）	仁吉（建築大工）	幸橋（建築大工）	次郎（建築大工）	正男（印刷師）	好勝（紙製品製造工）	正一（建築大工）	吉雄（建築大工）	虎蔵（建築大工）	辿（建築大工）	昭次（塗装工）	實（機械器具製作・修理工）	博（畳工）	庫吉（建築大工）	良策（建具製造工）	啓次郎（畳工）	善太郎（表具師）	哲男（家具製造工）
						紀元（その他／調理人）			茂草・つる製品製造工	光子（和裁仕立職）							五郎（塗装工）			親志（和裁仕立職）	



今年度の表彰者紹介

斉藤 正二さん

(建築大工／本合海)

(略歴など) 中学卒業と同時に木工を志して職業訓練校や木工所で家具製作を学んだが、建築大工になる夢を実現しようと帰郷。見習いを経て昭和47年に独立して以降、多くの木造建築物に携わる。最近、火災に見舞われた本合海七所明神の社を手掛けた。

(コメント) まさかこのような賞を受賞できるとは思っておりませんでした。今後益々、仕事と後継者育成に励みたいと思います。



斉藤氏による七所明神社

栗田 實さん

(建築大工／宮内町)

(略歴など) 建築大工になるのが夢で、中学卒業後に大工見習いとして弟子入り。その間、職業訓練校にも通いながら技術の習得を目指す。昭和44年に独立し、栗田建築を設立。木材を多く使った在来工法による邸など、多くの建築物で、その技術力を発揮している。

(コメント) このような名誉ある賞をいただきましたことに感謝申し上げます。これからも、若い人たちに在来工法の素晴らしさを伝えていきたいと思っています。



栗田氏による邸内部

涌井 正和さん

(陶芸家／東山町)

(略歴など) 広島県に生まれ、昭和55年に結婚を機に(有)新庄東山焼で陶芸の道に入る。それまで未経験の分野だったが、翌年には県総合美術展で入選。その後も全国で個展を開くなど、技術習得に加え、陶芸はもとより、新庄市の名を全国に広めている。

(コメント) まだまだいいものが作れるという気持ちを持っております。これを機に日々、研さんして参りたいと思います。今後、益々新庄市に寄与しながら、5代目とともに頑張っ参りたいと思います。



涌井氏による「自然釉花入」

26	海老名正治(建築大工)	25	伊藤 利一(建築大工)	24	石山 勝昭(機械修理・整備業)	23	大澤 隆(建築大工)	加藤 俊二(建築大工)	22	渡部 敏(建築大工)	松田 安雄(建築板金工)	20	伊藤 守(建築大工)	清水 勝美(建具工)	18	原田 芳雄(建築大工)	中塚 恵子(和裁)	16	後藤 充男(建築大工)	栗田 邦雄(木製建具製造工)	15	矢口 力男(木製建具製造工)	14	斎藤 繁身(かわ製品製造業)	浅井 一男(自動車板金塗装業)	高橋 昭正(建築大工)	丸山 昌弘(自動車板金塗装業)	13	高橋 純一(建築大工)	栗原和三郎(帆布製品製造業)	伊藤 寅雄(建具彫刻業)	12	白谷祐一(自動車板金工)	小野定幸(建築大工)	11	齊藤 勲(建築大工)	加藤 幸雄(表具師)	鈴木 俊夫(自動車整備士)	柴田孝太郎(建具製造工)	佐藤 昭平(金属加工)	10	齊藤 久彌(木工挽物業)	富樫 孝(左官)	魚谷 友雄(男子服仕立職)	相澤 健(建築大工)
----	-------------	----	-------------	----	-----------------	----	------------	-------------	----	------------	--------------	----	------------	------------	----	-------------	-----------	----	-------------	----------------	----	----------------	----	----------------	-----------------	-------------	-----------------	----	-------------	----------------	--------------	----	--------------	------------	----	------------	------------	---------------	--------------	-------------	----	--------------	----------	---------------	------------

1/31

ユネスコ無形文化遺産登録に向けた 新庄まつりシンポジウム

(市民プラザ)

「新庄まつりの山車行事」は、平成21年に国の重要無形民俗文化財の指定を受けました。文化庁はさらに、平成27年3月に新庄まつりを含む全国33のまつりを、無形文化遺産登録に向けてユネスコに申請しており、平成28年11月に審査・決定する予定です。

こうした背景の下、登録決定に向けた機運を盛り上げるとともに、新庄まつりの一層の発展を願い、この日、早稲田大学名誉教授の吉村作治先生を迎え、新庄まつり山車行事保存会により、シンポジウムが開催されました。

シンポジウムは2部構成で、まずは吉村先生が「ユネスコ無形文化遺産登録の意義と活用」と題した基調講演を行いました。



講演では、そもそも無形文化遺産とは何か、また、世界中のどんなものが登録されているかという基本的な点やユネスコ登録までの流れに加え、日本のま

つりの特色などについてさまざまなお話を伺いました。

続いて、新庄まつり山車行事保存会の佐々木新一郎さんをコーディネーターに、新庄山車連盟顧問の小嶋富彌市議員、人形師の2代目野川北山氏、元山車連盟事務局長で保存会事務局長の、伊藤洋一市社会教育課長の3名と吉村先生によるパネルディスカッションが行われました。

初めに、上茶屋町若連の発足に関わった小嶋市議が、発足当時の話や現在若連が直面する課題である、作り手や引手確保、そして山車制作や運行に係る資金確保の課題について話しました。次に、山車を彩る素晴らしい頭(かしら)を



担う、2代目野川北山氏が、伝統的な決まり事を大切にしたい山車製作などについて専門家ならではの意見を述べました。また伊藤社会教育課長は、新庄まつり山車保存会の活動を紹介するとともに、新庄まつりがユネスコ登録されれば、歌舞伎や和食と並ぶ、日本が誇る偉大な伝統文化となることを強く訴えました。

終了後の意見交換では、引手として郡内の子どもが参加しやすい環境整備の必要性や、資金確保に向けた寄付による基金創設、ふるさと納税の活用などの意見が出され、会場は大いに盛り上がりました。



新年市民の集い
(1月4日／市民プラザ)



子どもたちに伝えたい
小正月の伝統行事
(1月9日／ふるさと歴史センター)



早坂彌七さん(堀端町)が
交通安全を願う「福すずめ」を寄贈
(1月13日／市役所)

1/12

情報発信拠点&コワーキングスペース GOSALOn(ゴサロ)オープン

(新庄駅前五叉路付近)



「GOSALOn(ゴサロ)」は、新庄市地域おこし協力隊が空店舗を活用して整備した、コワーキング(一緒に仕事をする)や、起業・地域おこしなどに関する情報交換の場として使える施設です。インターネット環境が整い、プロジェクターやプリンター、ホワイトボードなども備え、打合せやセミナー、その他地域おこしに関わるイベントなどにも活用できます。利用するには無料の会員登録が必要です。

現在、キックオフイベント「しんじょう駅前大学公開講座」を開催中で、今後の日程は次の通りです。講師はいずれも市地域おこし協力隊が務め、参加は無料、申し込みも不要です。

■2月12日金午後6時～

「独立宣言学部 新庄国を建国します／渡邊悠樹さん」

■2月26日金午後6時～

「健康に暮らすための食材選び／渡邊歩さん」

■3月11日金午後6時～

「地域の宝物の活かし方／大森寿典さん」



▲1月29日金第1回目の『しんじょう駅前大学公開講座』

1/16

新庄ふるさと応援隊 新年交流会 in 東京

(東京／ホテルグランドパレス))

新庄ふるさと応援隊は、平成24年に最上地域外に居住する本市出身者や、本市を応援したいという方々で結成され、現在、全国各地に2,000人を超える隊員がいます。その新庄ふるさと応援隊と、新庄藩主を囲む家中の集まりで、現在は最上郡内出身者で組織されている最上葛籬会の合同による新年交流会が、会員など約140人の参加のもと、東京で開催されました。

新年会では、新庄の郷土料理の提供や、特産品の販売、新庄そばガールズによるステージショーのほか、かむてんによる餅つきや、新庄・最上の特産品が当たる抽選会などが行われ、参加者は旧友との再会を喜びながら、ふるさと新庄の味を楽しみました。



1/10

新庄市消防団出初式(市内)



課外授業のススメ!

第18回◎新庄東高等学校『新庄親善大使 台湾研修』

私たち新庄東高等学校2年 A コースの8人で、新庄市の親善大使として台湾に研修旅行に行ってきました。

出発する前、台湾の高校で行うプレゼンテーションの打ち合わせに市役所を訪れましたが、市の方々から、沢山の改善点を指摘され、私たちの作った資料では、あちらで通用しないことを知りました。その後、みんなで何度も検討を行い、出発の2日前にやっと完成させることができました。

研修旅行2日目、台湾の高校との交流の日となりました。私たちが訪れた高校は、日本の高校と比べてとても大きく、生徒数も多いマンモス校でした。まず、あちらの高校の校長先生や、教頭先生、多くの教員の皆さんの前で新庄を紹介するプレゼンテーションを行いました。

その後、生徒同士英語で交流を行いました。台湾の高校生の英語のレベルはとても高く、円滑なコミュニケーションはとれませんでした。それでも、最後は仲良くなる事ができました。この時間のなかで、とても心に残っているのは、「イスに座って話すだけではなく、立ちあがって話すことが世界の平和につながる」という台湾の先生の言葉です。

今回の研修旅行では、大人に交じって会議をしたことや、文化の違う人々との触れ合いを通し、私自身、物の見方や考え方が変わったような気がします。

こういった機会を与えてくださった方々に感謝しながらも、この経験を大切にしていきたいと思います。

2年 安達 空良

右から、
高橋 美琴さん
富樫 一艶さん
安達 空良さん
阿部 雄大さん
佐藤 奨さん
齊藤 翔さん
佐藤 秀弥さん
三原 来雪さん



にこにこ子育て



Q 最近人見知りが始まった8ヶ月児ですが、誰かに会うたびに泣いたり、機嫌が悪いと私以外の人にいきません。色々な人に慣れさせ、社会性のある子に育てたいのですが…。

A 現在の人見知りは、身近な人その他の人の区別がつくようになってきたからだと思います。自立の基本はお母さんとの信頼関係だと言われていますので、まずは愛情を持って接しましょう。いつもで見守ってくれているという安心感が、他の人への関心を育てていきます。おっくうがらずに、一緒にどんな外へ出かけましょう。お母さんが他の人にあいさつしたり、話したりする姿を見せると、他人への恐怖感や不安は無くなっていくことでしょう。すぐに入っていくだけでなく、お母さんが仲立ちしながら、同じ年代の子どもたちとコミュニケーションが取れるようにすると、次第に他人へも関心を持てるようになるでしょう。

しんじょう図書委員会

今月の図書委員

県立農業大学校文化広報委員長1年 千葉翔子さん



『月と六ペンス』

著:サマセット・モーム
訳:金原瑞人



皆さんはこれからの人生すべてを賭けてやりたいことはありますか？

この話は、エリートサラリーマンだった主人公が、その全てを捨ててまで、絵描きとして生きることを選ぶ。そんな彼の生き方や周りの人の人生が描かれています。

40歳を過ぎて会社をやめて画家を目指す、と言ったら周りもやめておけと説得に来るでしょう。もちろん彼も奥さんに止められましたが画家になることはやめません。古いぼろの屋根裏に住むことになっても他の人からどう思われよ

うともお構いなく絵を描き続けます。

やりたいことに遅すぎるなんてことはなく、何があっても自分の意志を貫いてやり続けられるか、情熱があるかどうかなんだ、と気づかされます。勉強や友情、恋や進路で悩むこともあると思いますが、どんな時も自分を見失わないで歩もうと思いました。

この小説は、100年近く読み継がれてきた名作です。「画家」を「農家」に読み替えて勇気をもらえる仲間もいるかもしれません。私は進路の関係で英語の授業を受けています。ぜひ原典で読み味わってみたいと思っています。

図書館インフォメーション

県立農業大学校図書室

本校の図書室は、現在林業経営学科開設に向けて改装工事中です。農業技術書などを中心とした蔵書ですが、歴代の卒業生の卒業論文集をすべて保存継承しており、在校生が研究の参考に関覧することもあります。

また、本校の緑風館(研究施設)のロビーには、研修で利用する人のための参考図書を整備しています。



●市立図書館 今月の新着図書●

升形～昭和を語る写真集～須田 柱一(新庄市在住)
ブルーアウト……………鈴木 光司
蚕～絹糸を吐く虫と日本人～……………畑中 章宏
ほんのおおきさスター・ウォーズ……………久保 卓哉
おいしい!カンタン!玄米ごはん……………石澤 清美
戦国武将「変わり兜」大全集……………双葉社
戦後70年につぼみの記憶……………読売新聞取材班
黒猫の回帰あるいは千夜航路……………森 晶麿
羊毛フェルトの動物ブローチ……………のそ子

ゆきだるまうさぎ……………田中てるみ
めいちゃんの500円玉……………なかがわ ちひろ
おふろやさんのまねきねこ……………とよた かずひこ
大村智ものがたり……………馬場 錬成
モンスター大百科～不思議な怪物が大集合!～宮本 幸枝
もう、ねるんだってば!……………ジョリ・ジョン

わらすこアルバム

毎月、わらすこ広場などで行う催しや、子育て関連のイベントの様子を毎月お届けします。



▲県立農大による寄せ植え体験



▲新庄南高演劇部による演劇披露



▲子育て・栄養相談

まず、どーも!

新庄市地域おこし協力隊通信 vol.10

商工観光課所属
吉野 優美さん

商工観光課所属
渡邊 歩さん

農林課所属
大森 寿典さん

農林課所属
渡邊 悠樹さん

大森寿典です。新庄の新たな情報発信拠点&コワーキング・スペース「GOSALOn(ゴサロ)」がオープンしてもうすぐ1か月になります。今月は、この施設の使い方をご案内します。

まず、ここでは新庄・最上にある隠れたお店や商品・イベント情報などを発信していきます。新商品を置いてお客様の反応が見たいなどの利用も大歓迎。

一方、コワーキング・スペースは自宅や事務所に次ぐ第二の活動拠点として仕事の利用や利用者同士の交流などに使えます。それ以外に設備を利用しながら利用者の課題解決をお手伝いします。つまり、「課題をプロジェクトとして登録する⇒内容を開示して仲間を集める⇒解決策を議論する⇒解決策を実行する」などにこの場を使うことができます。

また、ここでセミナーやイベントの開催もできます。一人の利用から、会議室として、さらに1対多のセミナーやプロジェクトを通じてのコラボレーションなど、新しい使い方が可能になります。地域の方々が利用して、より良い暮らしを一緒に考えるまちづくりの場となれば幸いです。なお、地域おこし協力隊メンバーがオープニング・イベントとして「しんじょう駅前大学」を開講しています。皆さん、気楽にお越しください。



GOSALOn

■ SHINJO GOSALOn(新庄ゴサロ)
新庄市沖の町4-3
営業時間: 平日のみ午前10時~午後5時
Facebook ページ
<http://www.facebook.com/shinjo.gosalon/>

◎詳しくは、商工観光課クールジャパン新庄推進室へ。☎内線253

ワン ツー スリー 1×2×3=6次産業奮闘中!

6次産業化に
取り組む皆さんを
毎月紹介します!

雪国の伝統的な保存食 雪の下野菜



雪国新庄の伝統的な保存方法である雪中保存は、一定の温度・湿度に保たれて、みずみずしく、ゆっくり熟成されることで、野菜そのものの甘味が増すとされています。

市内ホテルでも、雪の下野菜の料理提供が開始され、新庄市6次産業化の推進ブランドとして象徴的なものとなっています。

雪国の知恵として受け継がれてきたこの保存方法は、野菜の甘みがギュッと詰まって、加熱調理をすると型崩れせずに、よりその甘さが感じられようことが特徴です。

雪中は、温度が「ただ低い」だけでなく、氷点下にはならず一定に保たれ、更に湿度は100%近くあるという独特な環境です。これが野菜を保存するのに最適なのです。

私たちは、この効果を充分得られるように、雪中に貯蔵する期間を50日間以上と定め、取組んできました。雪国「しんじょう」の食文化の象徴として、広く紹介したい。そして、生産現場もこの価値観を見直し発信したい。そんな想いがこもったプロジェクトです。

プロジェクトも3期目に入り、学校給食や市内飲食店、店頭でも買い求められ、多くの方に食していただいております。今シーズンは、加工品開発も検討することとし、出来るだけ長い間、皆様に利用されることを期待しています。



産直まゆの郷

新庄市十日町6000番地の1
TEL/FAX : 23-5007

おしらせ+プラス

新庄市読書感想文コンクールが行われました

今年で52回目を迎える市読書感想文コンクール。市内全部の小中学校、高等学校からあわせて123点の応募があり、厳正な審査の末に、各賞受賞者が決まりました。優秀賞に選ばれた方々は下の通りです。

【優秀賞最上育英会賞】

柿崎 莉子(日新小6年)
梅津 莉央(日新中2年)
井上ゆかり(新庄南高3年)

【小学校の部】

須田ななみ(升形小1年)
佐藤百星果(北辰小1年)
軽部 草太(沼田小2年)

沼澤 乃愛(日新小2年)
加藤 伊純(新庄小3年)
八鍬 陽生(新庄小3年)
土田 一希(萩野学園4年)
三原 脩斗(北辰小4年)
今野 啓杜(日新小5年)
竹田 すず(北辰小5年)
早坂 修(萩野学園6年)

【中学校の部】

佐藤 愛里(萩野学園7年)
高橋 奈々(萩野学園7年)
柿崎 沙都(日新中2年)
矢作 亮磨(明倫中3年)
田原 梨央(新庄中3年)
【高等学校の部】
阿部 啓史(新庄北高1年)



雪国WonderLand

2/28(日)まで

市内の小学生以下限定
無料開放中!

冬の雪資源を観光やレジャーに活用し観光誘客に結びつけようと、市と観光協会、商工会議所、観光関連事業者などで構成する新庄市グリーンツーリズム推進協議会が、新庄駅東口のかむてん公園内に雪国ワンダーランドを開設しました。

1周約250mの専用コースでバナナボートや、スノーモービルへの乗車体験、雪のすべり台でのチューブスライダーやそり乗り、雪像やかまくら作りなどを体験できます。

- 開設期間 2月28日(日)までの毎週金・土・日・祝日
- 開設時間 午後1時～3時
- 体験料 1,770円
- 申込み 体験希望日の12時50分まで体験料をそえてもがみ物産館(ゆめりあ内)に申込みください。



雪のすべり台



かまくらづくり

小学生以下を対象に無料開放!

雪国ワンダーランドは、主に、山形新幹線「とれいゆ」や「リゾートみのり」で新庄を訪れた観光客向けの体験メニューですが、地元子どもたちにも楽しんでもらいたいと、期間中の土、日曜日、祝日に限り、市内の小学生以下の子どもを対象に無料開放しています。

保護者の見学は無料ですが、一緒に体験を希望する場合は、もがみ物産館への申込みが必要です。

◎詳しくは、協議会事務局へ。(商工観光課☎内線253)



スノーモービル



バナナボート

いつもそばに、アークベル

人生の節目節目に、アークベルメンバーズの月々の掛金が役立ちます。

アークベル
メンバーズ
とは...

月々わずか1,000円からの掛金で、ライフプランに合わせ、様々な特典がご利用できる安心のシステムです。ご婚礼、花嫁衣裳、ご葬儀はもちろん、成人式や七五三、入学、卒業、結婚、長寿のご祝宴やご法要などにもご利用可能です。

ご葬儀プラン

ご自宅葬、会館葬、新しい形での
ご葬儀など、あらゆるスタイルに対応

各種衣裳プラン

花嫁衣裳・新郎衣裳
成人式衣裳・七五三衣裳など

お気軽にお問い合わせください! Arkbell アークベル新庄 新庄市大字鳥越玉ノ木 1899-9 TEL.23-1032

ふるさと歴史センターからのお知らせ 第33回新庄のひなまつり展

国内最大級の享保雛のほか、新庄藩十代藩主正室の桃齡院が薩摩から持参したといわれる雛人形などを一堂に展示します。

■とき 2月20日(土)～4月4日(月)

■ところ ふるさと歴史センター ■入場料 大人300円／高校生100円／小中学生50円

※企画準備のため2月19日(金)まで2階展示室のみ閉室します。また、3月6日(日)にはくじら餅と甘酒ふるまい、4月3日(日)ひなあられプレゼント。(いずれも無くなり次第終了)

第10回新庄こども語りまつり

■とき 2月20日(土)午後1時30分～3時 ■ところ ふるさと歴史センター お祭りホール

■内容 新庄・最上に伝わる民話を市内小学生と高校生が語ります ■出演 萩野学園、北辰小、本

融雪マットモニター状況報告

市では、豪雪地域に居住する市民の冬期間の安全確保を目的として、融雪マットのモニター実験をおこなっています。

このモニター状況は、市のホームページでも公表しています。



◎詳しくは、都市整備課建築住宅室へ。
☎内線523

オールもがみ合同就職面接会

■対象 最上地域での就職・転職を希望する人(Uターン・イターン含む)

■とき 2月18日(木)午後1時～3時

■ところ ベルフォール新庄 玉姫殿

■内容 企業と求職者の個別面接会

■申し込み 事前申込不要

※入退場自由・服装自由

■参加企業 約20社

◎詳しくは、最上地域雇用創造推進協議会事務局へ。
☎23-6212

最上川からの流雪溝用水補水開始

市街地への安定的な流雪溝用水を確保するため、国営新庄農業水利施設を活用して最上川から取水し、流雪溝用水として市内河川などに通水しています。

■補水河川 中の川・桂堰・指首野川

■河川への注水時間 午前5時～7時、午後1時～3時、午後5時～7時

◎詳しくは、都市整備課雪対策室へ。☎内線533

合海小、新庄東高 ※入場無料
◎ふるさと歴史センター
☎22-2188

「ご注意ください」 雪下ろし作業時の事故防止

雪下ろしや除雪機・落雪による事故が多発しています。次のことに十分注意して、事故防止に努めましょう。

安全な雪下ろしのポイント

①屋根の雪のゆるみに注意し、足場には常に注意する ②ヘルメットなどの安全な服装と命綱を必ず着用する ③2人以上で作業を行うようにし、無理な作業はしない ④はしごはしっかり固定し、使い慣れた除雪道具を使う

安全な除雪機作業のポイント

①作業中は人を近づけない ②雪詰まりの除去や、作業時以外はエンジン停止 ③後進の際は、足元や後方に注意する

◎環境課地域防災室 ☎内線435

参加者募集

シンプルフレンチ料理教室

■とき 2月25日(木)午前の部／午前11時から 午後の部／午後6時から

■ところ 市民プラザ調理室 ■内容 きのこのキッシュ、リンゴのブラウニーなど計4品の料理教室

■講師 笹美知子氏 ■材料費 2,500円

■申込締切 2月22日(月)

◎事務局・笹 ☎22-2086

参加者募集

郷土料理教室

■対象 市内在住の人 ■とき 3月3日(木)午前9時30分～正午

■ところ 市民プラザ調理室 ■内容 桃の節句を祝う料理を作ろう

■持ち物 エプロン・三角巾・お手ふき ■材料費 500円

■申込締切 2月25日(木) ※定員20人

◎食改事務局(健康課) ☎内線513

写真を募集します

「きずな」写真展

■募集テーマ 家庭や地域でのふれあい写真など、「きずな」をテーマにした写真 ■応募様式 プリント、またはデータで一人2点まで(応募作品の返却はしません)

■募集締切 2月29日(月) ※審査は行わず、応募作品は3月16日(水)～27日(日)まで市民プラザで展示する予定です。

◎新庄市青少年育成市民会議 ☎29-2345

国民年金からのお知らせ

国民年金保険料は口座振替がお得

国民年金保険料は、口座振替を利用されると納め忘れがなく安心です。また、当月振替や前納にすると保険料が割引されます。

前納とは国民年金保険料をまとめて前払いする制度で、4月から翌々年3月までの2年度分、4月から翌3月までの1年度分、4月から9月までと10月から翌3月までの6か月分のいずれかを納めることができます。平成28年度に前納をご利用になるには、①保険料納付書又は年金手帳②預金通帳③金融機関届出印をお持ちのうえ、2月末日まで金融機関または年金事務所へお申込みください。

◎新庄年金事務所 ☎22-2050

新規募集 ご夫婦で 友人同士で
いつでも若々しく健康で
見学自由 無料体験レッスン実施中

鶴岡教室 (火・木・土)
TEL 0235(22)3585

新庄教室 (月・水・金)
TEL 0233(29)2812

※レッスン時間は相談に応じます。

林田ダンススクール 経営・指導 林田 幸尚
住所：鶴岡市昭和町 2-15 (鶴岡教室)

カイセイ 土・日 営業

「お泊り」できます デイサービス

栄養士の献立による 庭を見ながら リラクゼーション
美味しい食事 お風呂 ウォーターベッド
マッサージ

新庄市末広町 7-4 (荘内銀行新庄南支店あと) ☎29-2912

催しなど

新庄中学校同窓会合唱団キャスルサイド 10周年メモリアルコンサート

- とき 3月6日(日)午後1時30分開場
- ところ 市民文化会館ふれあいロビー
- 内容 結成10周年を記念したコンサートです。お茶を楽しみながら馴染みのある名曲やポピュラーな音楽とともに安らぎのひとときを過ごしましょう
- 入場料 無料
- ◎詳しくは、市民文化会館へ。☎22-7029

第11回市民プラザまつり

- 【展示の部】
- とき 3月9日(水)～13日(日)午前9時～午後5時
 - ところ 市民プラザ1階ロビー・市民ホール、2階ギャラリーなど
 - 内容 絵画作品、お花、羊毛作品、書、写真、短歌などの作品展示
- 【ステージ発表】
- とき 3月13日(日)午前10時～午後3時30分
 - ところ 市民プラザ大ホールなど
 - 内容 民謡や歌、社交ダンス、フラダンス、太極拳などのステージ発表。そのほか、お茶会や軽食コーナー、ものづくり体験などもあります。※入場無料
 - ◎詳しくは、市民プラザへ。☎22-4200

セルフリンパマッサージ教室

- 春に向けて、身体を目覚めさせましょう。
- とき 3月5日、12日 いずれも土曜日で午後7時～8時30分
 - ところ わくわく新庄会議室
 - 講師 海藤直子さん
 - 参加費 1,000円(2回分)
 - 持ち物 バスタオル、フェイスタオル
 - 申込締切 3月1日(火) ※定員20人
 - ◎詳しくは、わくわく新庄へ。☎23-0197

雪国ギャラリー作品展示

- とき 3月31日(木)まで
- ところ 雪国ギャラリー
- 内容 「三條正美作品展」～なつかしの風景しんじょうの冬～
- 入場料 無料
- ◎詳しくは、雪の里情報館へ。☎22-7891

参加者募集 HIP-HOPダンスサークル

- 楽しくダンスで健康づくりをする仲間を募集しています。
- 対象 幼児から大人まで
 - 活動日 毎週月曜 子ども／午後6時～大人／午後8時～
 - 活動場所 市民プラザ
 - 持ち物 内ばき・タオル・飲み物など ※3月は無料体験受付中
 - ◎事務局・杏沢 ☎050-3570-8508

入居者募集 市営住宅入居者募集

- 募集住宅名・戸数 ①玉の木団地3戸 ②野際団地1戸 ③小松室団地1戸 ④東山団地1戸
- 家賃 ①11,900円～22,300円 ②18,700円～27,900円 ③24,900円～37,000円 ④16,300円～24,000円

県営住宅入居者募集 若葉東アパート3戸

- 家賃 15,900円～24,000円
- 募集期間 2月12日(金)～18日(木)
- 受付時間 午前9時30分～午後5時
- 申し込み 県指定の県営住宅抽選申込書に記入のうえ、提出ください。
- ※入居にあたり、同居親族要件

- 200円 ■申込資格 次のいずれにも該当する方・現在住宅に困っている・同居親族がいる・収入の基準が合う・税金の未納がない・暴力団ではない
- 申込期間 2月12日(金)～19日(金)午前8時30分～午後5時15分
- ※18日(木)～19日(金)は午後7時まで
- 内覧会 2月17日(水)午前11時～午後3時
- ◎都市整備課建築住宅室 ☎内線522・524

- などや各優遇措置対象あり
- ◎県営住宅指定管理者 (株)西王不動産最上事務所 ☎23-3116
 - 自死遺族支援公開講座
グループケア講演会
 - とき 3月3日(木)午後2時～3時30分
 - ところ 市民プラザ小ホール
 - 演題 「大切な人を亡くすということ」
 - 講師 尾角光美氏(社リヴォン代表理事)
 - 申込締切 2月22日(月)
 - ※定員100人
 - ◎最上保健所地域保健福祉課 ☎29-1266

ご参加ください 農業経営革新支援講座

- 対象 県内農業者、農業関係者
- とき 2月29日(月)午後1時～4時40分
- ところ 県高度技術研究センター(山形市松葉)
- 内容 講演およびパネルディスカッション

「ご意見をお寄せください」 パブリックコメント実施中

- 「新庄市まちづくり総合計画」後期計画策定に向けた意見公募をおこないます。
- 期間 平成28年2月29日(月)まで
 - 閲覧場所 市役所、市民プラザ、わくわく新庄、雪の里情報館、市図書館、八向・萩野地区公民館、ゆめりあ
 - ※意見公募に関する詳細は市ホームページをご確認ください
 - ◎総合政策課企画政策室 ☎内線236

- ◎県立農業大学校研修部 ☎22-8794
- ツシヨシ ■講師 嶋崎秀樹氏(有限会社トップリバー代表取締役／長野県)、長澤光芳氏(有限会社舟形マッシュルーム代表取締役／山形県)
- 申込締切 2月22日(月)
- 受講料 無料
- ※先着150人

グループホーム支援スタッフ募集

- 【職種】障がい者グループホーム生活支援・世話人業務【内容】調理・清掃等【時給】850円～1,000円【勤務地】新庄市【他】各種保険完備・正社員登用制度あり【不問】資格・経験・年齢・性別【連絡先】業務調整係 加藤 ☎0233-23-6027 相談見学可

【公式HP】グループホームピース <http://www.unionsocialsystem.com/>

最上地域初の女性弁護士にお気軽にご相談ください

新庄ひまわり基金法律事務所

<破産・過払い金> 債務整理初回相談無料
離婚・相続・交通事故・その他法律相談など

法テラス無料相談取扱あり

山形県弁護士会所属 〒996-0024 新庄市多門町2-7ネバーランドビル2階
弁護士 神永夕貴 ☎0233-28-7062



こじんぐ隊がゆく

Vol.5

雪まっりの歴史を訪ねる



現理事長(第52代理事長)富樫宏一さんに今年の雪まっりをインタビュー



第35代の理事長だった高橋欣也さんに昔の雪まっりを伺いました

新庄雪まっりは、県内でも有数の集客数を誇る冬のイベントで、今年45年目を数える歴史あるまつりです。そして、この新庄雪まっりは、第1回の開催時から、公益社団法人新庄青年会議所が運営を続けています。

新庄青年会議所とは、1964年(昭和39年)に発足した団体で、新庄最上地区の20-40歳の一般社会人や若手経営者などが加入し、地域貢献と自己研さんのために、さまざまな取り組みを行っています。そして、毎年1月1日に新体制となり、新しい理事長のもと、初めての大きなイベントがこの雪まっりとなるそうです。

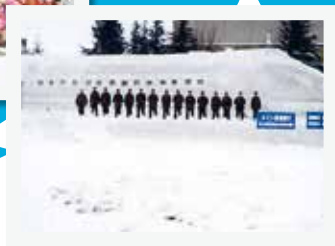
高校でいう生徒会のように毎年人が入れ替わるため、その年ごとに雪まっりも趣向を凝らしたものとなっていて、特にメイン雪像はその年の世相などを反映させてデザインされています。この雪像ですが、陸上自衛隊神町駐屯地第6師団の第20普通科連隊の方々が、毎年支援活動として制作しています。

ほかにも、ボランティアや関係団体、市内各商店街、一般参加者など、多くの人たちの手で作り上げられているイベントですが、今回お話を伺った現理事長も、17代前の理事長も同様に、「雪を邪魔者としてではなく、楽しめるものになりたい」として「子どもたちが雪で楽しめる場を作りたい」と言っていました。

新庄最上に住む私たちにとって、とても大切なことのように感じました。



▲過去の雪まっりの様子



チーム Sunny(サニー)

新庄南高校
榎本朱里
矢口沙雪
林 佑香
新庄北高校
伊藤夏乃



第45回 新庄雪まっり

■とき

2月13日(土)

午前10時～午後8時

2月14日(日)

午前9時～午後3時

■ところ 最上公園一帯特設会場

■内容 13日/雪上相撲大会・雪上運動会・キャンドルナイト・コンサート・雪上花火など、14日/新庄がみご当地キャラPR・ヒーローショーなど※新庄食楽(くら)市場、スノーボールバトル2016、交通安全カルタ大会、雪像展示などもあります。

※駐車場に限りがあります。

新庄駅西口発着のシャトルバスをご利用ください。

◎詳しくは、新庄青年会議所へ。☎22-6855



文字を
見やすく
しました

本文にモリサワユニバーサルフォントを使用しています。